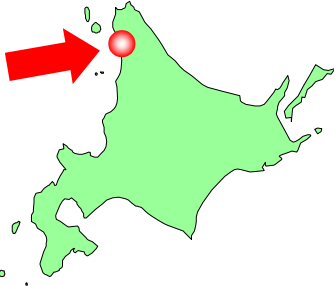


にぎわい

北海道版

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

会員だより



“第28回 ほろのベ雪まつり”
～雪と光のページェント～

北海道 幌延町

幌延町は、日本でも北の端という冷涼な気候を利用し、トナカイの飼育やヒマラヤの青いケシの栽培など、新しい産業づくりに取り組んでいます。

毎年2月には、1年の半分を雪と共に暮らす北国ならではのイベント「ほろのベ雪まつり」を開催し、今年は第28回を数えます。



雪の芸術・雪像



凍てつく夜空を彩る花火とレーザー光線

町内の有志がそれぞれのグループで作成する雪像、前夜祭の花火とレーザーショー、本祭りの各種ミニゲームなど、シバシバを吹き飛ばす元気な歓声で賑わいます。

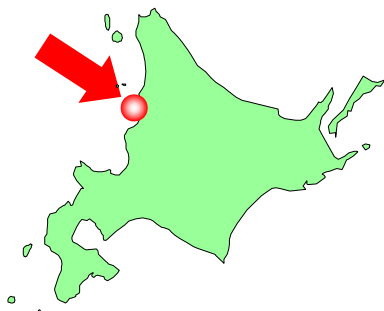
特に前夜祭の、冬の澄んだ夜空を彩る打ち上げ花火とレーザー光線の競演は人気も高く、町内外から多くの人が集まります。翌日曜日は、トナカイソリに乗ったり、キャラクターショーを見たり、ゲームに興じたりと、子供たちを中心に楽しい休日をご過ごしていただいています。



ほろのベっ子は寒さもへっちゃら！

- ◇と き：平成15年2月15日(土) 18:00～
2月16日(日) 10:00～
- ◇と ころ：幌延町トナカイ観光牧場
- ◇問い合わせ先：ほろのペ雪まつり実行委員会
TEL 01632-5-1111

会員だより



“第11回北海道凧あげ大会 ・第30回苫前町凧あげ大会”

北海道 苫前町

苫前町では、日本海特有の強風を有効な資源として活用して、風力発電事業を大きな「まちづくり」事業として取り組んでいます。その風の強い苫前町の風土を利用して、伝統と歴史のある「凧あげ大会」を行うことにより、北国の冬の暮らしに活気と楽しさを求めるとともに、町の活性化と誰でも気軽に参加できる健全なレクリエーションの場を提供することを目的として毎年2月にこの大会を開催しております。

最初は、町内のお祭りとして地元の漁師などが集まって、やん衆から伝わった津軽凧をあげたのが始まりであったが、昭和48年より苫前町の大会として行っており、平成5年からは北海道規模の大会として開催しています。現在では、北海道の冬の一大イベントとして定着しており、全道各地より愛好者が集まります。



子供から大人まで一斉に凧あげ！



大きさ約5畳の大凧に大人10名ほどでチャレンジ！

大会への参加は手作りの凧が条件となります。大会は親子の部から大凧の部や連凧の部など8部門に分かれており、各部門で凧のあがり方や絵柄・構造などを審査の対象として、上位入賞者へ表彰しております。

大会では、大小様々な凧が一斉に舞い上がり、中でも畳5畳ほどの大凧や100枚以上の凧が連なる連凧は迫力があり爽快であります。また、当日はアトラクションや景

品入りもちまき、地元特産品の格安販売なども行っており、2000人程の来場者でにぎわいます。

- ◇と き：平成15年2月23日(日) 9:30～
- ◇と ころ：とままえ温泉ふわっと
- ◇問い合わせ先：苫前町凧あげ大会実行委員会事務局
TEL 01646-5-4076

編集・問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

国土交通省 北海道開発局 港湾計画課 調査係内

Tel : 011-709-2311 (内線 5617)

Fax : 011-709-2147

E-Mail : saitou-a22ac@hkd.mlit.go.jp